

# 香川県環境学習教材

## さぬきっ子環境スタディ～香川の仕事編～

### ③「間伐材の有効活用」株式会社門入カメラの取り組み

#### 動画の内容



本来なら森の中に放置されてきた**間伐材**を運びこむシーン  
香川県にはスギやヒノキなどの人工林がたくさんある

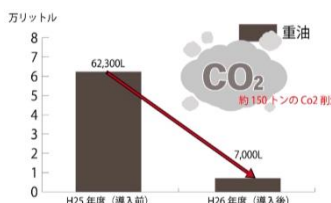


木を植えて育てるためには**下草刈り**や**枝打ち**や**間伐**などの手入れがある  
間伐された木は間伐材と呼ばれ、木材や燃料として有効活用することが大切で、それによって地域も森も元気になる



この間伐材を有効活用するのが**薪ボイラー**  
薪を燃焼することにより放出される**二酸化炭素**は木の成長過程で光合成により空気中から吸収した二酸化炭素であるため、増えていないとみなされる

薪ボイラーを使って温泉をわかしているのが香川県**さぬき市**にある**カメラ温泉**



この温泉では平成26年度に本格導入され、導入前に62,300リットルだった**重油**の使用量が導入後は7,000リットルと**10分の1**以下の量に削減された  
これによる二酸化炭素の削減量は約**150トン**

#### ○薪を作る仕事風景



運びやすい大きさに切る



作業場に運ぶ



燃えやすい大きさに切る



薪を保管しやすく整理する

運びやすい大きさに切る

作業場に運ぶ

燃えやすい大きさに切る

薪を保管しやすく整理する

薪の場合は自動的に補充されないので監視カメラやベルトコンベアーを使って出来るだけ人の負担を軽くする工夫がされている

#### 【温泉で働く人のインタビュー】



なぜ、間伐材を利用しているんですか？

カメラ温泉はさぬき市の山あいにあるので、**処分する木**を使って温泉を温めるのがぴったりだと思い間伐材を利用しています。もともと閉鎖されようとしていた温泉をたくさんの人の協力で運営しています。温泉に入って気持ちよかったと言ってもらえることにやりがいを感じます。